

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷 政司 印刷所 東京印刷(株)

平成9年度県会長候補推薦決定、西部副会長決定

県会長推薦



秋田 導秀

副会長



間真 希夫



足立 聡



堀田 収



土井 一朗



山本 良文

3月17日(月)、米子国際ホテルにおいて臨時総会が開催され、平成9年度県会長候補推薦決定、ならびに平成9年度西部副会長5名が決定した。

議長に柴谷副会長が選任され、開会資格確認の後、松本会長より次年度県会長候補に秋田導秀氏を推薦したい旨議案提議があり、満場一致で承認された。

続いて小原次年度会長より、次年度副会長に間真希夫、足立聡、堀田収、土井一朗、山本良文氏を指名。在籍年数、経験共に豊富で十二分に活躍してくれるものと確信していることをアピールされ、同じく満場一致で承認された。

東中西部の連携は勿論のこと、イベントのみの中央会活動だけでなく鳥取県広域経済発展のため努力したい、と力強く語られた秋田氏。小原次年度会長を支える各々の立場で現在の心境を語られた次年度副会長諸氏。今後の活躍が期待される。

山陰・夢みなと博覧会

衛星生中継 進捗状況報告2

地域ビジョン委員会

特別委員会メンバー決定

近づく夢みなと博覧会に向けて、当委員会での準備状況をご報告いたします。3/2の役員会にて予算化が具体的に決まり、また特別委員会のメンバーも決定いたしました。

そのほか今年度フレッシュ会員(19名)の方々にも中継当日はご協力をお願いいたします。

今後、当委員会のみならず広く中央会全体として、更に中継体制を整えていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いいたします。

VTR撮影開始

当委員会VTR制作班の撮影がタイ研修を皮切りにスタートいたしました。

VTR制作班は音田班長を中心に釜田組、戸野組、湯原組で構成しております。

現在、釜田組(釜田 金田 志田会員)は中央会紹介の撮影進行中で、情報メディア委員会、社会文化委員会、3月例会等の撮影を済ませ、今後、各委員会の撮影を計画しております。

中央会自らの企画と制作によって行うこの地域情報発信の意義をご理解いただき「英知」「友愛」「団結」のもと、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

▷ 3月例会報告 ◁

3月17日(月)米子国際ホテルに於いて、オープン例会として11月例会が開催されました。

「平成不況の行方と日本の未来」と言う演題で、元通産省技術課長で現在埼玉大学教授の橋本久義先生を迎えて行われました。

全国各地の工場(1864社)を訪問して感じてこれたことを話された。

中小企業の社長は魅力性・気力・人徳に優れている人は、今まで何度かあった不況を乗り越えてきた人が多いことや平成不況の原因と日本の未来について話された。

まず阪神大震災で町が壊滅的被害を受けただけでなく、それまで物を買っていた人がそれ所ではなくなった為、物を買わなくなったし、都道府県の公共事業が多い時期と重なった為、景気が良くなるわけがない。

次にサリンのテレビ報道がほとんどのこの時期、地域などのPR報道がほとんど報道されない為、景気がよくなるなど、構造的に分岐点ではあった。



しかし経済成長率・工作機械産業などの伸びから見ても日本の経済は良くなりつつある。工作機械などよい時期は1兆円以上もあったが、悪い時には3000億~5000億まで落ちたが、去年は9300億まで回復した。金型産業も衰退産業でもない。1990年は5400億が去年は4300億と減っているように見えるが、バブル時代はコストが高かった為で生産量は増えている。

最近では海外のほうが賃金が安いなどの理由に、海外に進出する工場も多いが、引き上げてくる人もいます。コストなど安くてよい面もあるが、納期・完成度などに無理がある。しかし発展途上国の生産量も増えている。特に女性が中心の職種は発展性がある。

日本の産業も生産量が増えている。日本には他の国にはない技術力がある為、日本はまだまだ伸びる。設備投資もバブルの時代をはぶけば順調な伸びをしている。

最後に中小企業の生き残り条件として、人を育てる・人を獲得する・ニューファクトリー(設備投資・見栄えする工場)・新分野・新技術への挑戦・インターネットなどコストが安くつく広報メリット、大きな夢を持ち続けることが大事と話を締めくくられた。

北海道研修旅行

(総務委員会)



飛行機を降りると、少し冷たい乾いた空気と暖かい太陽の日差しが我々を出迎えてくれました。3月15日から2泊3日で行われた研修旅行は私にとっての処女地、北海道でした。我々一行は新千歳空港で昼食後、札幌市内へと向かいました。札幌市は人口176万人を抱え、北海道の政治、経済、文化、情報の中心地であり、また古い建物も多数残っており、観光都市としての役割もはたしております。第一日目に我々が視察した一つの「サッポロファクトリー」は、そんな同市を凝縮したような複合施設でした。サッポロビールの工場跡地に、近代的な建物と古いレンガ造りの建物が融合しており、空に向かって高く伸びたレンガ造りの煙突は大変、印象的でした。

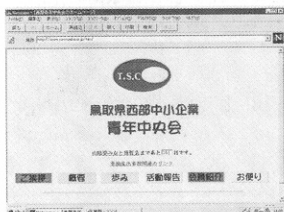
二日目は小樽でした。その昔、大変栄えた都市も海運業と共に衰退しましたが、観光事業により再生した都市です。同市は古い建物を残し、新しく建てる建物も街並みの景観を壊さない様配慮し建設しているとのこと。その中で、最近親会社が倒産した「オルゴール館」など、同市の強い要請により、営業を続けており、観光事業に対する同市の姿勢を伺わせていました。また、その施設を訪れた際、2000万円もするオルゴールの音色も聞け、貴重な体験をさせていただきました。

今年卒業される角田団長のもと、無事終了した研修旅行において、多くの観光資源を抱える鳥取県西部地区に足りないもの考える事ができ、幾つかの思い出深い体験をする事も



できました。阿部直前会長、小原次年度会長をはじめ研修に参加し同行された皆様方に感謝しております。ありがとうございました。

さっぽろ倶楽部



西部青年中央会のホームページのデザインが変わりました

URL:<http://www.sanmedia.or.jp/tsc/>

会員紹介ページに、まだ登録されていない方は、写真をそえて広報委員会までご提出して下さい。

3月度委員会報告

政治行政委員会

平成9年3月7日(金) 於：米子食品会館 出席者/8名
内容/1. 委員会として地域合併をした「ひたちなか市」を実際に訪れ、市役所及び商工会議所より情報を収集する事が決定した。
2. その為の日程及び視察方法等を討議した。
3. 会員である平野氏が転勤の為、委員会終了後、今後の平野氏の更なる活躍を祈り送別会を行った。

地域ビジョン委員会

平成9年3月10日(月) 於：米子食品会館 出席者/12名
内容/山陰夢みなと博覧会衛星放送のテーマ、VTR班のビデオ撮影の進め方等について審議を重ねた。

経済委員会

平成9年3月6日(火) 於：米子食品会館 出席者/7名
講師/(株)中国銀行米子支店 支店長代理 大森茂樹氏
内容/大森会員をお招きして岡山自動車道開通を前にして「山陽から見た山陰」と言う題でお話を伺った。
岡山道の経済効果や岡山人気質、岡山道の意義について忌憚りの無い意見を伺い、山陰側から見た岡山道との違いをお話しされた。会員と言うこともあり活発な委員会であった。

経営委員会

平成9年3月14日(金) 於：境港・馬亭 出席者/11名
講師/(有)北国醤油店 代表取締役専務 北国恵久氏
内容/1. 役員会報告および3月例会について説明
2. 武田会員よりタイ王国研修報告
3. 鳥取県西部(境港市)の国際交流の展開についての講演を聞き、境港市の街作りなどについて活発な意見交換

情報メディア委員会

平成9年3月13日(木) 於：米子食品会館 出席者/11名
講師/NTT米子支店 支店長 金山進氏
演題/「マルチメディアの未来展望」について
内容/現在可能な通信方法からNTTの行っているサービスまで(宣伝を兼ねて)1時間半しっかり聞かせて頂きました。
利用者にとって一番の関心事である通信費(所謂電話料金)について質問が出ましたが「CONネットワーク」の説明にとどまりました。

指導能力開発委員会

平成9年3月21日(金) 於：すし弁慶本社会議室 出席者/11名

講師/すし弁慶 社長 渡部氏

演題/回転寿司の歴史と現状

内容/すし弁慶社長・渡部氏を内部講師に呼び回転寿司の歴史と現状を話していただいた。競争激化する外食産業の生き残りや発展に対して熱い思いが感じられた。
講演のあとは先日開店した道笑町店にて、次期会長小原氏をまじえての食事会。あな恐ろしや「打ち上げ旅行」の話がああでもないこうでもない続いた。

社会・文化委員会

平成9年3月14日(金) 於：米子食品会館 出席者/11名
講師/三井生命 千歳氏、安本氏
演題/女性問題(働く女性)について
内容/1. 役員会報告

2. 三井生命の千歳さん、安本さんを講師に招きディスカッション方式でおこないました。主な質問は
1) 営業には男性・女性どちらが良いか?
保険の外交については、女性の方が会社など訪問してもことわられにくいなど、女性が有利。
2) 新規及び引きつづきのお客さんとの飽和状態をどういうふうになさっていますか?
三井生命の場合は、新規といわず歩合は同じなので、本人の能力にまかせられている。

まだまだ多くの質問が飛びかき、はく熱した会場で時間があつと言う間に過ぎ短くも感じました。当日は地域ビジョン委員会のTV撮影があり、みなさん緊張したなか始まり、何故か勤ちがいたようにも見えました。

その後場所をかえ、羽原会員の送別会をおこないました。

総務委員会

平成9年3月21日(金) 於：米子食品会館 出席者/16名
内容/1. 役員会報告
2. 4月レクリエーション例会の件
各分担より実施案の提示
各分担別打ち合わせ

広報委員会

平成9年3月7日(金) 於：米子食品会館 出席者/11名
内容/ハンサム4月号編集打ち合せ
インターネットホームページ掲載演習

新入会員オリエンテーション報告

3月5日水曜日、米子国際ホテルに於いて新入会員オリエンテーションが開催された。

受講者は6名。松本会長挨拶の後、出席者全員による自己紹介。それから講義の方に移って行った。

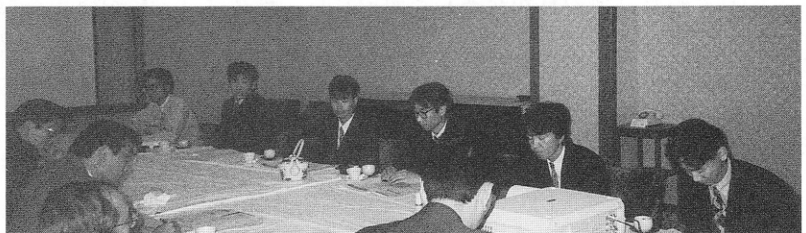
最初に松本会長より今年度の活動方針についてお話しいただき、山陰・夢みなと博覧会、トライアスロン皆生大会等をひかえたこれからの中央会活動や新入会員への要望などを話された。

また、組織について小原監事よりお話しいただいた。西部青年中央会がどのような位置にあって、県・全国の組織に対してどのような関わりを持っているかなど、基本的なところから説明していただいた。続いて足立監事より中央会活動についてということで、20・21期活動についてお話しい

だいた。最後に音田監事より新入会員としての心構えということで、会則の復習やご自身の経験談などお話しいただいた。

新入会員にとって、中央会についてわからないことやどのような活動をしていけば良いかなど、様々な疑問点があり、それを解消するために十分なオリエンテーションでありました。

また、普段あまり知る機会のない中央会の歴史、OBの方々の功績などを知る良い機会でありました。



Challenge

西日本カバディー大会

奮戦記

3月23日 日曜日、午前10時00分、出雲ドーム。久方ぶりに麗かな休日、家庭サービスなど糞食らえと言う中央会選り抜きの猛者達は、鼻息も荒く、しかしこれから始まる競技に得体の知れない不安を覚えながら、準備に余念が無い。カバディーって何だ？ 俺はなぜここにいるのか？ それより、なぜトライ君がここにいるのか？

主催側の挨拶も終わり、いよいよ試合が始まる。我々はCコートの第1試合である。序盤、要領を得ず、コンビネーションもうまく行かず、相手に手加減されながら右往左往しているうちに、なんとなく試合らしくなってくる。カバディーとは、鬼ごっことドッジボールを足したような競技である。コートを自陣、敵陣に別け、更にその半分に「勇気のライン」と呼ばれるラインがある。要は「カバディ、カバディ」と一息の続く限り敵陣に攻め入って、相手の身体の一部に触れて自陣に帰って来れば良く、但しその際、敵陣の勇気のラインを一度以上超えなければならないと言う、至って簡単なルールである。しかし、インドの戦争のやり方がその原形だけあって、これは正に戦、格闘技である。攻めてきた敵を自陣に返さないように取り押さえるのである。気が付けば腕、肘、膝、顔いたるところ擦り傷だらけになる。こんな傷は久

しぶりだ。前半20分、5分のインターバルを挟んで後半20分。何と無く要領が分かってきて、みんなが燃え始めた頃、タイムオーバーに。初戦は28対13で熊本大学マーゴチームに敗退。とりあえず順当な滑り出しとしどころ。

午後から敗者戦で米子高専のラグビーチーム「常勝」と対戦。なんと言っても、格闘を半ば専門とする連中だ。見るからに恐ろしい。猫に魅入られたねずみの心境、半分諦めたがとりあえず使用前の写真を撮る。試合開始。来た来た来た！ うわー！ 何なんだこいつは！ しかし、この真剣になったことが返って幸いした。みんなの動きが良い。コンビネーションもとても俄仕込みには見えない。やはり、実戦経験は人を変える。薙ぎ倒された苜田会員が頭部を強打、脳震盪を起こし退場したのを筆頭に、皆手足の皮ずる剥け状態でがんばった。試合終了。ほっと一息つくメンバーに奇跡が起こった。23対23。同点の結果、ファーストポイントを押さえた我々の勝利となったのだ。何と、勝ってしまった。今日の苦労はとりあえず報われた。明日の筋肉痛のことなど頭には無い。そして、外はすごい雷雨だった。

こうして振返ると凄い経験をさせて頂いた。こんな事でもない限り、恐らく一生カバディーなど知りもしなかったであろう。そして、こんな感動も味わえなかっただろう。しかし、多分もう一生する事も無いだろう。



聞いてごしない Part 10

「家族旅行」

我が家では、毎年1回家族旅行を娘三人と私とで計画し、出発前からどこに行っておくかをしようかとか、帰ってからは私が撮った8ミリビデオを見て、「あそこは良かったネ!!」と子供が喜んでくれるのがうれしくて、裏方役に徹していて、私にとって良い思い出になっていました。

このたび、3月初めに長女の進学が決まり、これから家族全員で旅行することは少なくなるだろうと思ひ、(年度末の仕事が忙しい時期だけ)「春休み中に1泊2日でどこかに行こうか」と私が提案し、宿泊先のホテルも決めていました。(1日目は遊園地で1日を過ごして、2日目は名所めぐりをして自宅に帰るという計画)

そして、旅行3日前に子供がたのしみにしていると思ひ「○日と△日は何の日かなあ」と聞いたたら、長女は「私は友達と遊ぶ日だよ〜」、次女は「何かあったっけ…?」、三女にしては「テレビの○○○○があるよ〜」という答え。私が「何を言ってるか! 家族で旅行する日ではないのか」と言うと、三人娘、口を揃えて「あそ〜!!」……絶句。

ちくしょう!!

これまでの旅行は、おまえらに合わせて遊んでやったのに、今度の旅行は「私一人で楽しんでやるぞ〜!!」と小声で言うと、妻が一言「お父さんはいつも一人で楽しんでいるでしょう」だって…………… (文・和良居)

4月例会案内 (レクリエーション例会)

と き 4月20日(日) AM9:30集合
 ところ 上の台緑の村(伯太町赤屋)
 (雨天決行)
 担 当 総務委員会・情報メディア委員会

4月役員会報告

4月定例役員会が4月1日(火)、米子食品会館に於いて開催された。

- 当日の主な議題は、次の通りです。
- (1) 4、5月例会(臨時総会)開催の件
 - (2) 新入会員承認の件
 - (3) 収支見込の件
 - (4) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

編集後記

春が来た。犬も、猫も、蛙も、人間様も浮かれ出る春が来た。春と言えばなんと言っても花見だ。あっちで花見。こっちで花見。見る桜は山ほどある。飲む正当な(?)理由があるのはありがたい。家に大手を振って帰れるってのが良い。今回はどんな趣向で酒を飲もうか。でも、調子に乗ったらいけませんぞ。